

福島第一原子力発電所の20km以遠のモニタリング結果について

平成23年4月1日 13時00分現在
文 部 科 学 省

○文部科学省が集計した結果

- * 1 GM(ガイガー=ミューラー計測管)における値
- * 2 電離箱における値
- * 3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値
- * 4 測定時間内における測定値の変動範囲

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定エリア【1】 (約60Km北西)	4月1日8時48分	2.7 ^{*2}	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【2】 (約55Km北西)	4月1日9時18分	3.8 ^{*2}	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【3】 (約45Km北西)	4月1日10時14分	3.3 ^{*2}	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【5】 (約45Km北)	4月1日11時12分	0.8 ^{*2}	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【6】 (約45Km北)	4月1日11時34分	1.0 ^{*2}	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【7】 (約45Km北)	4月1日11時43分	1.1 ^{*2}	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【12】 (約40Km西)	4月1日11時39分	0.5 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【13】 (約40Km西)	4月1日11時53分	0.5 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【20】 (約45Km北西)	4月1日10時37分	0.6 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【21】 (約30Km西北西)	4月1日11時09分	2.3 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【22】 (約30Km西北西)	4月1日11時00分	0.6 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【23】 (約30Km西北西)	4月1日10時48分	0.6 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【31】 (約30Km西北西)	4月1日10時33分	15.4 ^{*2}	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【32】 (約30Km北西)	4月1日10時56分	36.2 ^{*2}	降雨無し	日本原子力研究開発機構

- * 1 GM(ガイガー=ミュラー計測管)における値
- * 2 電離箱における値
- * 3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値
- * 4 測定時間内における測定値の変動範囲

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定エリア【33】 (約30Km北西)	4月1日11時22分	18.2 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【36】 (約40Km北西)	4月1日10時08分	5.7 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【37】 (約50km北西)	4月1日9時57分	4.6 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【38】 (約35km南)	4月1日11時37分	1.0 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【74】 (約35Km南)	4月1日11時08分	0.2 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【75】 (約45Km南)	4月1日10時30分	0.8 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【84】 (約40km南西)	4月1日9時50分	0.5 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【85】 (約60km北西)	4月1日6時00分	0.3 *2	降雨無し	防衛省
測定エリア【86】 (約55km西)	4月1日6時00分	1.3 *2	降雨無し	防衛省
測定エリア【87】 (約30km西南西)	4月1日6時00分	1.0 *2	降雨無し	防衛省

福島第一原子力発電所周辺のモニタリング結果



測定日時
4月1日
6時00分～12時00分

●測定箇所

単位:マイクロシーベルト毎時

円は範囲の概略を示す

【1】
2.7

【85】
0.3

【2】
3.8

【37】
4.6

【3】
3.3

【5】
0.8

【7】
1.1

【6】
1.0

【32】
36.2

【36】
5.7

【31】
15.4

【33】
18.2

【21】
2.3

【23】
0.6

【20】
0.6

【84】
0.5

【38】
1.0

【86】
1.3

【12】
0.5

【13】
0.5

【87】
1.0

【75】
0.8

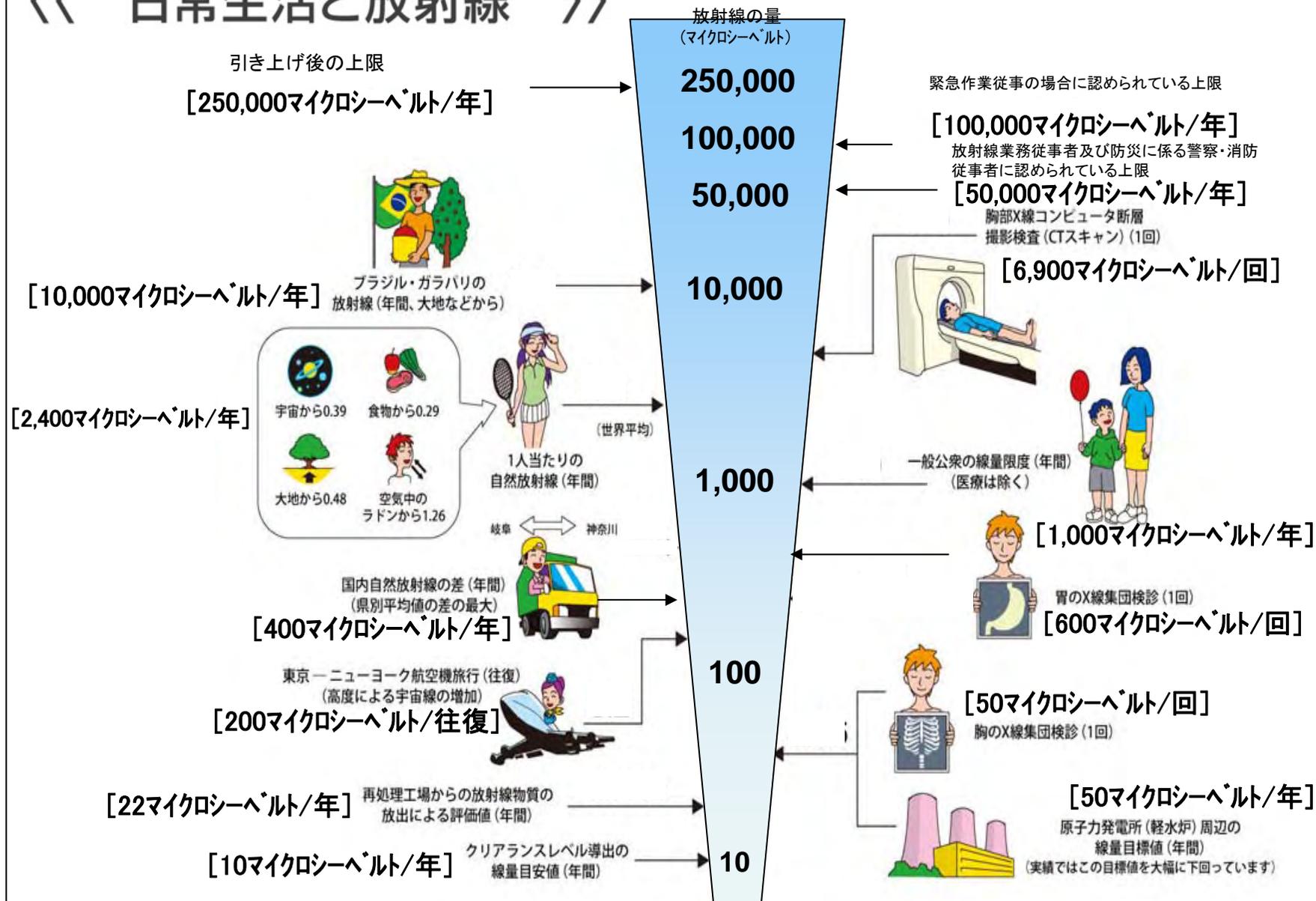
【74】
0.2

屋内退避及び避難等に関する指標

予測線量 (単位: μSv)		防護対策の内容
外部被ばくによる実効線量	内部被ばくによる等価線量 <ul style="list-style-type: none"> ・ 放射性ヨウ素による小児甲状腺の等価線量 ・ ウランによる骨表面又は肺の等価線量 ・ プルトニウムによる骨表面又は肺の等価線量 	
10,000～ 50,000	100,000～ 500,000	住民は、自宅等の屋内へ退避すること。その際、窓等を閉め気密性に配慮すること。 ただし、施設から直接放出される中性子線又はガンマ線の放出に対しては、指示があれば、コンクリート建家に退避するか、又は避難すること。
50,000 以上	500,000 以上	住民は、指示に従いコンクリート建家の屋内に退避するか、又は避難すること。

「原子力施設等の防災対策について」(昭和 55 年 6 月 30 日原子力安全委員会決定 (最終改訂 平成 22 年 8 月 24 日)) より

<< 日常生活と放射線 >>



※ Sv【シーベルト】=放射線の種類による生物効果の定数(※) × Gy【グレイ】 ※ X線、γ線では 1